

会議記録（要点筆記）																																	
委員会名		秦野市子ども・子育て会議(平成29年度第1回)																															
日時	平成29年10月30日（月） 14：00～16：15	場所	秦野市役所3階 3A会議室																														
出席者	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">[委員氏名]</td> <td style="width: 30%;">[所属団体等]</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>小林 正稔</td> <td>神奈川県立保健福祉大学教授</td> <td>（会長）</td> </tr> <tr> <td>小林 徳博</td> <td>元・二宮町教育委員、元・小学校長</td> <td>（副会長）</td> </tr> <tr> <td>大澤 一之</td> <td>民間幼稚園長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>草山 充</td> <td>秦野市民間保育園園長会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>串田 祐基</td> <td>地域型保育事業者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>佐々木 広世</td> <td>秦野市学童保育連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松澤 ひろみ</td> <td>秦野市民間保育園主任の会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>栗原 誉紀</td> <td>秦野市PTA連絡協議会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>矢野 博子</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]		小林 正稔	神奈川県立保健福祉大学教授	（会長）	小林 徳博	元・二宮町教育委員、元・小学校長	（副会長）	大澤 一之	民間幼稚園長		草山 充	秦野市民間保育園園長会		串田 祐基	地域型保育事業者		佐々木 広世	秦野市学童保育連絡協議会		松澤 ひろみ	秦野市民間保育園主任の会		栗原 誉紀	秦野市PTA連絡協議会		矢野 博子	市民委員	
[委員氏名]	[所属団体等]																																
小林 正稔	神奈川県立保健福祉大学教授	（会長）																															
小林 徳博	元・二宮町教育委員、元・小学校長	（副会長）																															
大澤 一之	民間幼稚園長																																
草山 充	秦野市民間保育園園長会																																
串田 祐基	地域型保育事業者																																
佐々木 広世	秦野市学童保育連絡協議会																																
松澤 ひろみ	秦野市民間保育園主任の会																																
栗原 誉紀	秦野市PTA連絡協議会																																
矢野 博子	市民委員																																
欠席者	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">[委員氏名]</td> <td style="width: 30%;">[所属団体等]</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>佐々木 陽一</td> <td>株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内藤 剛彦</td> <td>秦野伊勢原医師会</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鈴木 泉</td> <td>神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長</td> <td></td> </tr> <tr> <td>清水 幸代</td> <td>市民委員</td> <td></td> </tr> </table>			[委員氏名]	[所属団体等]		佐々木 陽一	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント		内藤 剛彦	秦野伊勢原医師会		鈴木 泉	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長		清水 幸代	市民委員																
[委員氏名]	[所属団体等]																																
佐々木 陽一	株式会社PHP研究所 公共経営支援センター コンサルタント																																
内藤 剛彦	秦野伊勢原医師会																																
鈴木 泉	神奈川県平塚児童相談所子ども相談課長																																
清水 幸代	市民委員																																
[事務局] こども健康部 子育て支援課長 保育こども園課長 保育こども園課 課長代理 保育こども園課 主査 教育部 教育総務課長 教育総務課 主任主事 [その他] 副市長		[庶務担当（こども健康部子育て支援課）] 課長代理 主任主事																															

議事内容	<p>1 開 会 2 新任委員紹介 3 副市長挨拶 4 諮 問 5 議 事 (1) 「秦野市子ども・子育て支援事業計画」に係る中間年度での見直しについて (2) 特定教育・保育施設の利用定員について (3) 「秦野市子ども・子育て支援事業計画」の平成28年度実施状況について (4) その他 6 閉 会</p>
配付資料	<p>次第 委員名簿 資料1：「秦野市子ども・子育て支援事業計画」に係る中間年度での見直しについて (別添資料①～⑥) 資料2－1～7：保育所・認定こども園の概要 資料3：平成28年度「秦野市子ども・子育て支援事業計画」に係る具体的支援策等実施状況報告書</p>

[1 開会]

○事務局

(13名の委員のうち9名の出席があったため、秦野市子ども・子育て会議条例第5条第2項の規定により、会議が成立していることを報告)

[2 新任委員紹介]

[3 副市長挨拶]

[4 諮問]

○副市長

(『「秦野市子ども・子育て支援事業計画」に係る中間年度での見直し』について諮問)

[5 議事]

(1) 「秦野市子ども・子育て支援事業計画」に係る中間年度での見直しについて

○事務局

（「資料1」に基づいて説明）

○会長

「教育・保育の量の確保」について、平成30、31年度の「入所申込数（量の見込み）」及び「確保量（定員）」の見直しを実施しているが、それぞれの推計値について、今後も実績の推移を踏まえ、適切に行ってほしい。

○委員

「別添資料③」2頁の「3号認定・0歳」について、計画と実績とのかい離の理由は何か。

○事務局

計画策定時は算定の時点を3月末としましたが、今回の見直しについては4月1日としたため、時点の違いで大きな差が生じたものです。

○会長

本件は諮問案件であるため、答申の内容については、会長一任とさせていただき、事務局を通じて調整させていただく。

（2） 特定教育・保育施設の利用定員について

○事務局

（「資料2」に基づいて説明）

○会長

待機児童及び来年の特定教育・保育施設の利用定員増加の状況はどうか。

○事務局

待機児童については、本年4月1日は49名です。来年の定員については、308名の増加となるため、数字上は0歳児、1～2歳児、3～5歳児の全ての認定区分において、待機児童が解消されると考えています。

○会長

秦野市全体として、大きく定員が増加することで、保護者と各園とのマッチングがうまくいかなかった場合、入所者が定員に満たず、空きが生じる園がでるかもしれない。また、国の方針もあり、定員を増加させることは理解できるが、数が増えれば良いという訳ではなく、保育の質の確保が課題となると考えるが、何か対策はしているのか。

○事務局

保育の質の確保に係る施策について、新年度から実施すべく、保育士確保に向けた補助制度の創設について、予算計上を検討しています。

○会長

保育の質の確保は重要な課題であるため、新設園については入所制限を設けて少しずつ受入れを増やしていくことや、園に対して運営費を補填するような施策も一案と

して考えられる。

○委員

保育の現場からの視点で考えると、0～2歳の定員は需要があるためあまり問題ないかもしれないが、3～5歳の定員は、空きが生じる園がでることが想定される。

○委員

ただ定員の数を増やせば良いという訳ではなく、保育の質の確保のためには、保育士等の養成と確保も同時に図っていくことが重要である。この点については、保育園だけでなく、幼稚園も同様である。他の園や他の職業とのバランスを考え、良質な人材確保のため、給与設定等も考えていく必要がある。

○委員

新設園については、子どもを預けることが不安だという保護者もいる。

○委員

新設園については、事故等が起こらないよう、市としてどのような指導ができるのか。

○事務局

今回の新設園については神奈川県認可のため、県の指導監査の対象となります。また、本市としても神奈川県と協力し、チェック体制を充実させていきます。

○会長

神奈川県認可の園であっても、保育の実施主体は市であり、問題があった場合は市の責任となるため、十分に承知して指導を徹底してほしい。また、園長会など、各園の代表者が定期的に顔を合わせる場があるが、新設園の方を孤立させず、その場にしっかりと出席していただき、相互協力していくことが重要である。

最後に、今後も適切に定員を設定していくこと、保育の質の確保のための支援、指導を十分に行っていくことが重要であることを、再度申し上げておく。

(3) 「秦野市子ども・子育て支援事業計画」の平成28年度実施状況について

○事務局

（「資料3」に基づいて説明）

○委員

先ほどの議事(2)と繰り返しになるかもしれないが、「教育・保育の量の確保」について、実施状況を踏まえ、今後の定員を増加させることについてお聞きしたい。

○事務局

本市としては、働く意欲を持った方のニーズを満たしていくべく、努力しているところです。待機児童を少なくすることで、本市を住みよい自治体として、選んでいただきたいと考えています。

○会長

定員を増加させるのみでは、他自治体からの流入を促すことは難しいだろう。虐待等が起こってしまってからでは遅いため、保育の質の確保を図ることが重要である。

○委員

定員を増加させることについて、修正を求めるようなことはないが、保育の質の確保を十分に図ってほしい。

○会長

秦野市は、市全体として子育てのしやすい自治体を目指して、力を入れて頑張ってきた歴史があるため、公立こども園も大事にしてほしい。

○委員

「障害児デイサービス事業（たんぼぼ教室）」等の事業に関連して申し上げるが、障害児に関わる各事業の利用について、受けられるサービスの日数が適当でない場合があると感じている保護者もいると承知している。

○会長

適当な日数のサービスを受けられるよう、保護者が利用申請をする際には、市だけでなくNPO法人等が支援し、適切な申請内容となるようにするなどの取組みが重要である。

○委員

「一時預かり事業（保育所）」について、保育士の確保が難しく、利用を断ってしまったケースがあった。子育てのしやすい自治体を目指して、保育士等の人材確保のため、保育士等が働きやすい環境づくりに向けた施策をお願いしたい。

○会長

潜在保育士を活用するなど、人材確保のための取組みを図っていただきたい。

○委員

人材バンクなども一案であるが、人材確保のためには、安心して働ける場をつくることが重要である。

○会長

人材確保とともに、子育てのしやすい自治体をアピールするためのスローガンを作成することなども検討してほしい。

(4) その他

○事務局

次回開催日程については、案件が生じた際に調整させていただきます。

[6 閉会]